

協議事項

令和3年度専門研修プログラムについて

配布資料

- ・資料1 協議事項 専門研修プログラム（意見書骨子）
- ・資料2 京都府専門研修採用者数（過去3ヶ年分）
- ・資料3 シーリング導入による京都府への影響について（評価）

協議事項 専門研修プログラム（意見書骨子）

<新規>

(1) 日本専門医機構のガバナンスを早期に確立すること

- ・全ての基本領域で早期にカリキュラム制の運用を開始するよう学会を指導すること。
- ・シーリングの見直しや改善の検討状況について、各学会や都道府県に丁寧に説明すること。
- ・新設された「臨床研究医コース」の具体的な説明を行うこと。

(2) サブスペシャルティ領域を早期に確立すること

- ・特に地域医療を支える総合診療専門医を選択する専攻医が増えるよう魅力的な制度を構築すること。
- ・全てのサブスペシャルティ領域が明らかになるまで、連動研修を開始しないこと。

<継続> (R2要望事項)

(3) シーリング数の算定において地域医療の状況を反映すること

- ・病院勤務医等と比べ臨床に費やす時間が制限される大学の教官及び大学院生等の割合を考慮し、実情に見合ったシーリング数に改めること。

(4) シーリング適用時における採用人数の調整ルールを確立すること

- ・都道府県協議会が調整役を担えるよう、採用人数の調整ルールを明確にすること。

(5) 連携プログラムの要件に関すること

- ・連携プログラムの要件として、府内医師少数区域の研修期間も合算すること。
- ・連携プログラムは、プログラム登録者全員で相当分の期間を確保することで「可」とすること。
- ・地域貢献率は、医師確保計画において医師少数区域と同様に扱うとされている医師少数スポットも算定に含むこと。

＜京都府専門研修採用者数(過去3ヶ年分)＞

	京都府	H30 採用者	H31 採用者	R2 採用者	
				※府シーリング 開始年度	うち 自治医 地域枠
シーリング対象診療科	内科	85	80	79	4
	小児科	8	9	12	3
	皮膚科	14	10	10	0
	精神科	13	12	8	0
	整形外科	17	17	17	0
	眼科	19	17	17	0
	耳鼻咽喉科	10	12	11	1
	泌尿器科	19	5	13	0
	放射線科	9	14	10	0
	麻酔科	19	13	12	1
	形成外科	8	7	8	0
	小計	221	196	197	9
シーリング対象外診療科	外科	23	19	19	1
	産婦人科	12	14	17	0
	総合診療科	3	7	2	0
	救急科	7	10	8	0
	脳神経外科	10	13	9	0
	リハ科	2	0	4	0
	病理	7	9	4	0
	臨床検査	0	1	0	0
小計	64	73	63	1	
合計	285	269	260	10	

臨床研修終了者	250	245	257
採用比率	114%	110%	101%

- ・過去3ヶ年における専攻医の採用数は、臨床研修終了者数を上回っている状況
- ・地域医療を担う総合診療専門医を選択する専攻医は伸び悩んでいる

シーリング導入による京都府への影響について(評価)

1. シーリング対象の診療科における配置状況(計画)について

出典: 基幹病院への専攻医配置調査(京都府調べ)

研修開始年度	内科			麻酔科		小児科		皮膚科		整形外科		眼科		耳鼻咽喉科		泌尿器科		放射線科				
	研修期間中の 従事者数(延べ 人/年)	専攻医数 (延べ 人/年)	構成比	専攻医数 (延べ 人/年)	構成比	専攻医数 (延べ 人/年)	構成比	専攻医数 (延べ 人/年)	構成比	専攻医数 (延べ 人/年)	構成比	専攻医数 (延べ 人/年)	構成比	専攻医数 (延べ 人/年)	構成比	専攻医数 (延べ 人/年)	構成比	専攻医数 (延べ 人/年)	構成比			
採用実績ベース	H30 (H30実績 ・H31実績 ・R2実績見込)	府内	187	(81.9%)	36	(92.3%)	20	(81.3%)	38	(54.3%)	34	(63.0%)	38	(55.1%)	9	(56.3%)	43	(59.7%)	9	(37.5%)		
		医師少数区域	11	(4.7%)	4	(10.3%)	1	(4.2%)	0	(0.0%)	2	(3.7%)	3	(4.3%)	0	(0.0%)	2	(2.8%)	0	(0.0%)		
		丹後	7	(3.0%)	4	(10.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.9%)	3	(4.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)		
		山城南	4	(1.8%)	0	(0.0%)	1	(4.2%)	0	(0.0%)	1	(1.9%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(2.8%)	0	(0.0%)
		医師少数スポット	15	(6.6%)	3	(6.4%)	3	(12.5%)	1	(1.4%)	5	(9.3%)	0	(0.0%)	3	(18.8%)	3	(4.2%)	0	(0.0%)		
		中丹	6	(2.5%)	3	(6.4%)	3	(12.5%)	1	(1.4%)	3	(5.8%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)		
	南丹	9	(4.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(3.7%)	0	(0.0%)	3	(18.8%)	2	(2.8%)	0	(0.0%)			
	その他	161	(70.6%)	30	(75.6%)	16	(64.6%)	37	(50.0%)	27	(50.0%)	35	(50.0%)	6	(37.5%)	38	(52.8%)	9	(37.5%)			
	府外	41	(18.1%)	3	(7.7%)	5	(18.8%)	32	(45.7%)	20	(37.0%)	31	(44.9%)	7	(43.8%)	29	(40.3%)	15	(62.5%)			
	合計	228	(100.0%)	39	(100.0%)	24	(100.0%)	70	(100.0%)	54	(100.0%)	69	(100.0%)	16	(100.0%)	72	(100.0%)	24	(100.0%)			
	H31 (H31実績 ・R2実績見込 ・R3計画)	府内	182	(84.5%)	26	(92.9%)	18	(64.8%)	38	(76.0%)	43	(66.7%)	46	(67.6%)	15	(62.5%)	17	(60.7%)	16	(40.0%)		
		医師少数区域	10	(4.6%)	0	(0.0%)	1	(3.7%)	0	(0.0%)	2	(2.6%)	6	(8.8%)	0	(0.0%)	1	(3.6%)	0	(0.0%)		
丹後		6	(2.8%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.5%)	3	(4.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)			
山城南		4	(1.9%)	0	(0.0%)	1	(3.7%)	0	(0.0%)	1	(2.1%)	3	(4.4%)	0	(0.0%)	1	(3.6%)	0	(0.0%)			
医師少数スポット		14	(6.6%)	1	(3.6%)	3	(11.1%)	2	(4.0%)	6	(9.4%)	3	(4.4%)	3	(12.5%)	1	(3.6%)	0	(0.0%)			
中丹		7	(3.0%)	1	(3.6%)	2	(7.4%)	2	(4.0%)	4	(6.2%)	3	(4.4%)	3	(12.5%)	1	(3.6%)	0	(0.0%)			
南丹	8	(3.6%)	0	(0.0%)	1	(3.7%)	0	(0.0%)	2	(3.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)				
その他	158	(73.2%)	25	(89.3%)	14	(50.0%)	36	(72.0%)	35	(54.8%)	37	(54.4%)	12	(50.0%)	15	(53.6%)	16	(40.0%)				
府外	33	(15.5%)	2	(7.1%)	10	(35.2%)	12	(24.0%)	21	(33.3%)	22	(32.4%)	9	(37.5%)	11	(39.3%)	24	(60.0%)				
合計	215	(100.0%)	28	(100.0%)	27	(100.0%)	50	(100.0%)	64	(100.0%)	68	(100.0%)	24	(100.0%)	28	(100.0%)	40	(100.0%)				
R2 (R2実績見込 ・R3計画 ・R4計画)	府内	158	(85.4%)	37	(93.1%)	26	(77.3%)	36	(51.4%)	37	(57.4%)	34.3	(57.1%)	13	(81.3%)	30	(57.7%)	10	(33.3%)			
	医師少数区域	9	(4.6%)	3	(7.5%)	1	(3.0%)	0	(0.0%)	3	(4.2%)	3	(5.0%)	4	(25.0%)	1	(1.9%)	0	(0.0%)			
	丹後	5	(2.7%)	3	(7.5%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(2.1%)	0	(0.0%)	4	(25.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)			
	山城南	4	(1.9%)	0	(0.0%)	1	(3.0%)	0	(0.0%)	1	(2.1%)	3	(5.0%)	0	(0.0%)	1	(1.9%)	0	(0.0%)			
	医師少数スポット	20	(10.6%)	5	(12.5%)	5	(15.2%)	0	(0.0%)	3	(4.7%)	6	(10.0%)	0	(0.0%)	3	(5.8%)	0	(0.0%)			
	中丹	15	(7.9%)	5	(12.5%)	3	(9.1%)	0	(0.0%)	1	(1.6%)	3	(5.0%)	0	(0.0%)	1	(1.9%)	0	(0.0%)			
南丹	5	(2.7%)	0	(0.0%)	2	(6.1%)	0	(0.0%)	2	(3.1%)	3	(5.0%)	0	(0.0%)	2	(3.8%)	0	(0.0%)				
その他	130	(70.2%)	29	(73.2%)	20	(59.1%)	36	(51.4%)	31	(48.5%)	25.3	(42.1%)	9	(56.3%)	26	(50.0%)	10	(33.3%)				
府外	27	(14.6%)	3	(6.9%)	8	(22.7%)	34	(48.6%)	27	(42.6%)	25.8	(42.9%)	3	(18.8%)	22	(42.3%)	20	(66.7%)				
合計	185	(100.0%)	40	(100.0%)	33	(100.0%)	70	(100.0%)	64	(100.0%)	60	(100.0%)	16	(100.0%)	52	(100.0%)	30	(100.0%)				
募集定員ベース	R3 (R3計画 ・R4計画 ・R5計画)	府内	231	(80.3%)	54	(82.1%)	34	(59.6%)	36	(51.4%)	58	(63.3%)	41	(60.3%)	16	(80.0%)	43	(59.7%)	21	(58.3%)		
		医師少数区域	23	(7.9%)	7	(10.6%)	1	(1.8%)	0	(0.0%)	5	(5.4%)	3	(4.4%)	0	(0.0%)	2	(2.8%)	4	(11.1%)		
		丹後	11	(4.0%)	7	(10.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(2.2%)	3	(4.4%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(5.6%)		
		山城南	11	(3.9%)	0	(0.0%)	1	(1.8%)	0	(0.0%)	3	(3.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(2.8%)	2	(5.6%)		
		医師少数スポット	23	(8.1%)	2	(3.4%)	4	(7.0%)	3	(4.3%)	5	(5.4%)	3	(4.4%)	6	(30.0%)	3	(4.2%)	2	(5.6%)		
		中丹	12	(4.2%)	2	(3.4%)	3	(5.3%)	3	(4.3%)	3	(3.3%)	3	(4.4%)	3	(15.0%)	1	(1.4%)	2	(5.6%)		
南丹	11	(3.9%)	0	(0.0%)	1	(1.8%)	0	(0.0%)	2	(2.2%)	0	(0.0%)	3	(15.0%)	2	(2.8%)	0	(0.0%)				
その他	185	(64.4%)	45	(68.1%)	29	(50.9%)	33	(47.1%)	48	(52.4%)	35	(51.5%)	10	(50.0%)	38	(52.8%)	15	(41.7%)				
府外	57	(19.7%)	12	(17.9%)	23	(40.4%)	34	(48.6%)	34	(36.7%)	27	(39.7%)	4	(20.0%)	29	(40.3%)	15	(41.7%)				
合計	288	(100.0%)	66	(100.0%)	57	(100.0%)	70	(100.0%)	92	(100.0%)	68	(100.0%)	20	(100.0%)	72	(100.0%)	36	(100.0%)				
分析1	評価項目 (傾向分析)	府内・府外のバランス	府外の構成比 ↑	府外の構成比 ↑	府外の構成比 ↑	-	(傾向に変化なし)	-	(傾向に変化なし)	-	(傾向に変化なし)	-	(傾向に変化なし)	-	(傾向に変化なし)	-	(傾向に変化なし)	-	(傾向に変化なし)			
		府内の圏域のバランス	医師少数区域の 構成比 ↑	-	(傾向に変化なし)	-	(傾向に変化なし)	-	(傾向に変化なし)	-	(傾向に変化なし)	-	(傾向に変化なし)	-	(傾向に変化なし)	-	(傾向に変化なし)	-	(傾向に変化なし)			

2. 募集定員における大学が占める割合(医大+京大定員)/府内計

分析2	募集定員における 大学が占める割合 (医大+京大定員) /府内計	H30	H31	R2	小児科	皮膚科	整形外科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	放射線科
		43%	43%	41%	100%	100%	86%	100%	100%	100%	100%
					89%	100%	86%	100%	100%	100%	100%
					96%	100%	84%	100%	100%	100%	100%

結果	課題
<p>○募集定員(採用実績)に占める大学の割合の多寡で、シーリングの影響の有無に違いが見られた。</p> <p>(1)大学の割合が高い診療科(小児科・皮膚科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・泌尿器科・放射線科)は影響なし</p> <p>(2) " 低い診療科(内科・麻酔科)</p> <p>・府外の割合が高くなる(府には「-効果」)及び府内の医師少数区域の割合が高くなる(府には「+効果」)傾向</p> <p>→ ① 地域貢献率20%確保のため、シーリング対象外の他県の割合、府内医師少数区域の割合が増加(地域貢献率の算定に、医師少数スポットは含まれておらず、増加効果は見受けられない。)</p> <p>② 連携プログラム(要件:シーリング対象外の他県で1年6ヵ月以上従事)の割合が増加</p>	<p>府内の医師偏在の解消寄与するため、</p> <p>① 地域貢献率の算定に、医師少数スポットを加えること</p> <p>② 連携プログラムの従事要件に、「シーリング対象外の他県」だけでなく、「医師少数区域及び少数スポット」を加えること</p>

※連携プログラム…シーリング対象外都道府県で1年6ヶ月以上勤務するプログラム

※地域貢献率…「(シーリング対象外都道府県勤務月数+府医師少数区域(丹後・山城南医療圏)勤務月数)÷専攻医の全勤務月数」で算出。ただし連携プログラムを設定した場合は当該期間を除外して算出する。